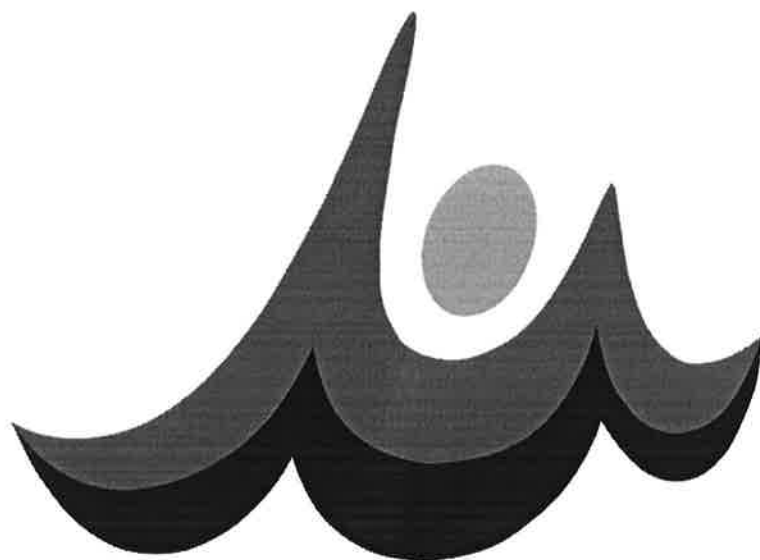


平成30年度
雲仙市補正予算（案）資料

（第1回補正）



<資料の目次>

	ページ
平成30年度第1回補正予算（案）の概要	1
一般会計補正予算（第1号）	2
下水道事業特別会計補正予算（第1号）	9
水道事業会計補正予算（第1号）	9

長崎県 雲仙市

平成30年度第1回補正予算（案）の概要

平成30年6月7日
雲仙市総務部財政課

1 今回補正額

(単位：千円)

会計名	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	対前年度 同期比(%)
一般会計	29,485,500	389,149	29,874,649	5.1
下水道事業特別会計	1,121,087	△ 3,428	1,117,659	1.6
水道事業会計(企業会計)	1,669,104	△ 16,761	1,652,343	△ 5.7
合計	39,732,439	368,960	40,101,399	△ 0.3

※1 対前年度同期比は、補正後予算額の比較

※2 水道事業会計(企業会計)の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額

※3 合計欄の補正前・後予算額には、今回補正を行わなかった会計分を含む。

2 今回補正の主な内容

〈予算〉

〔今回補正額〕 〔予算計上区分〕

①一般会計

地域介護・福祉空間整備事業	8,774千円	新規
産地パワーアップ事業	319,637千円	新規
農地耕作条件改善事業	6,900千円	新規
漁業就業者確保育成対策事業	4,300千円	追加
大規模建築物耐震化事業	33,407千円	追加

〈地方債〉

①一般会計

変更 1件

3 今回補正の留意点

- ① 補助金等の内示を受けた事業のほか、早期に執行を要する経費を計上
- ② 人事異動等に伴う人件費の増減を計上

●一般会計（第1号）	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	対前年度 同期比(%)
	29,485,500	389,149	29,874,649	5.1

※再掲

補正予算の主な項目

〈歳入〉

(単位：千円)

No.	款	項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	所管課名	新規		予算書 ページ
1	14 国庫支出金	地域介護・福祉空間整備 等施設整備交付金	0	8,774	8,774	福祉課	○		14
2	14 国庫支出金	社会資本整備総合交付金 (建築課)	150,452	16,703	167,155	建築課			14
3	15 県支出金	産地パワーアップ事業補 助金	0	261,675	261,675	農林水産課	○		15
4	15 県支出金	長崎県大規模建築物耐震 化事業補助金	52,164	8,351	60,515	建築課			15
5	20 諸収入	コミュニティ助成事業補 助金	0	3,400	3,400	地域づくり推 進課 市民安全課	○		18

〈歳出〉

(単位：千円)

No.	款	項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	所管課名	新規	総合 計画	予算書 ページ	本資料 ページ
6	3 民生費	地域介護・福祉空間整備 事業	0	8,774	8,774	福祉課	○	1	29	3
7	6 農林水産業 費	産地パワーアップ事業	0	319,637	319,637	農林水産課	○	2	34	4
8	6 農林水産業 費	農地耕作条件改善事業	0	6,900	6,900	農漁村整備課	○	2	34	5
9	6 農林水産業 費	漁業就業者確保育成対策 事業	24,750	4,300	29,050	農林水産課		2	36	6
10	8 土木費	大規模建築物耐震化事業	208,658	33,407	242,065	建築課		2	41	7

【雲仙市総合計画における基本方針】

1 暮らしと安心 2 産業と交流 3 社会基盤と環境 4 人財と郷土 5 協働と戦略

一般会計(3 民生費)

1 暮らしと安心

地域介護・福祉空間整備事業【新規】

●事業目的

既存の認知症高齢者グループホームにおける老朽化に伴う大規模な修繕に要する経費を支援し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進を図る。

●事業主体 認知症高齢者グループホーム運営事業者

●補正の理由 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の内示を受けたため。

●事業費

(単位:千円)

補正前予算額	今回補正額	補正後予算額
0	8,774	8,774

●今回補正額の内訳

(単位:千円)

今回補正額	財源					今回補正額の節別内訳
	国	県	地方債	その他	一般財源	
8,774	8,774					負担金、補助及び交付金 8,774
(8,774)	(8,774)					
(財源割合)	(100%)					

※括弧書きは、補正後予算額及びその財源割合

●事業(補正)の内容

①事業内容	利用者等の安全性確保等の観点から老朽化に伴う大規模な修繕等を実施する市内2事業者へ、工事費用の一部を助成する。
②補助率	補助対象経費の10/10(上限7,370千円)

●事業担当課 健康福祉部 福祉課

一般会計(6 農林水産業費)

2 産業と交流

産地パワーアップ事業【新規】

●事業目的

「総合的なTPP等関連政策大綱」に即し、産地一丸となって創意工夫し、産地の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者等が効率化によるコスト削減や、実需者ニーズに応じた産地体制整備を行う取組実現のため、ソフト・ハードを一体的に支援する。

●事業主体 国見いちごパワーアップ組合 他13件

●補正の理由 産地パワーアップ事業補助金の内示を受けたため。

●事業費

(単位:千円)

補正前予算額	今回補正額	補正後予算額
0	319,637	319,637

●今回補正額の内訳

(単位:千円)

今回補正額	財源					今回補正額の節別内訳
	国	県	地方債	その他	一般財源	
319,637		261,675			57,962	負担金、補助及び交付金 319,637
(319,637)		(261,675)			(57,962)	
(財源割合)		(82%)			(18%)	

※括弧書きは、補正後予算額及びその財源割合

●事業(補正)の内容

①事業内容		
・ 人参	集出荷施設・洗浄選果機	1棟・1台
・ 草花	低コスト耐候性ハウス	1棟
・ ミニトマト	低コスト耐候性ハウス	3棟
・ レタス	パイプハウス資材	24棟
	育苗ハウス	2棟
	ベタがけ資材	350a
・ 苺	パイプハウス資材	3棟
	設備機械リース(加温機等)	24台
・ ブロッコリー	農機具リース(乗用半自動移植機等)	39台
	育苗ハウス	3棟
	ベタがけ資材	150a
・ 白菜	パイプハウス資材	32棟
・ 大根	洗浄選別機	1台
②補助率 国1/2、県1/10(低コスト耐候性ハウスのみ)、市1/10以内		

●事業担当課 産業部 農林水産課

一般会計(6 農林水産業費)

2 産業と交流

農地耕作条件改善事業【新規】

●事業目的

排水性が悪い農地に暗渠排水を施工し、排水性を向上させることにより、農地の汎用化を図り、作付体系を高収益作物へ転換することで農業経営の安定化及び農地中間管理機構による農地利用集積・集約化を促進する。

●事業主体 雲仙市

●補正の理由 農地耕作条件改善事業交付金の内示を受けたため。

●事業費

(単位:千円)

補正前予算額	今回補正額	補正後予算額
0	6,900	6,900

●今回補正額の内訳

(単位:千円)

今回補正額	財源					今回補正額の節別内訳
	国	県	地方債	分担金	一般財源	
6,900		3,740		1,530	1,630	委託料 — 工事請負費 —
(6,900)		(3,740)		(1,530)	(1,630)	
(財源割合)		(54%)		(22%)	(24%)	

※括弧書きは、補正後予算額及びその財源割合

●事業(補正)の内容

①工事場所	吾妻町守山地区
②事業内容	・測量設計業務委託 ・暗渠排水工 A = 1.74ha
③負担区分	国:55%、市:22.5%、地元:22.5%

●事業担当課 産業部 農漁村整備課

一般会計(6 農林水産業費)

2 産業と交流

漁業就業者確保育成対策事業

●事業目的

水産業における高齢化や後継者不足による漁業従事者の減少に対し、本事業による漁業技術研修を実施することにより、市外からの参入や市内の非漁業者からのチャレンジを支援し、新規漁業就業者の増加を図る。

●事業主体 市内での漁業就業希望者及び指導者

●補正の理由 新規就業者として、新たに2名の研修要望があったため。

●事業費

(単位:千円)

補正前予算額	今回補正額	補正後予算額
24,750	4,300	29,050

●今回補正額の内訳

(単位:千円)

今回補正額	財源					今回補正額の節別内訳
	国	県	地方債	その他	一般財源	
4,300		1,950			2,350	負担金、補助及び交付金 4,300
(29,050)	(8,475)	(9,750)			(10,825)	
(財源割合)	(29%)	(34%)			(37%)	

※括弧書きは、補正後予算額及びその財源割合

●事業(補正)の内容

①事業内容	漁業技術研修に取組む研修生及び指導者に対する助成
②助成内容	
・対象	研修生2名、指導者2名(8月~3月まで)
・経費内訳	研修生(150,000円×8月+50,000)×2名 指導者 10,000円×90日×2名

●事業担当課 産業部 農林水産課

一般会計(8 土木費)

2 産業と交流

大規模建築物耐震化事業

●事業目的

建築物の耐震改修の促進に関する法律改正により、耐震診断の実施が義務付けられた不特定多数が利用する大規模な建築物の所有者に対して、当該建築物の耐震化に係る費用の一部を助成し、大規模建築物の耐震化を図る。

●事業主体 不特定多数の者が利用する大規模建築物の所有者

●補正の理由 施設の耐震改修計画（設計）作成について、未定であった事業主体の整備スケジュールが定まったため。

●事業費

(単位:千円)

補正前予算額	今回補正額	補正後予算額
208,658	33,407	242,065

●今回補正額の内訳

(単位:千円)

今回補正額	財源					今回補正額の節別内訳
	国	県	地方債	その他	一般財源	
33,407	16,703	8,351			8,353	負担金、補助及び交付金 33,407
(242,065)	(121,032)	(60,515)			(60,518)	
(財源割合)	(50%)	(25%)			(25%)	

※括弧書きは、補正後予算額及びその財源割合

●事業(補正)の内容

- ①事業内容 耐震改修計画作成費に対する助成
 ②事業件数 2件（施設名：富貴屋、東洋館）

●事業担当課 建設部 建築課

5 協働と戦略

職員人件費(全会計分)

●補正の内容

人事異動等に伴う職員人件費の組替え、共済組合負担金率の変更

●事業の内容

一般会計(357人→357人)

単位:千円

	H30当初予算額	第1回補正後予算額	増減額
給料	1,384,008	1,385,393	1,385
職員手当等	844,039	861,342	17,303
共済費	475,368	470,799	△ 4,569
合計	2,703,415	2,717,534	14,119

下水道事業特別会計(7人→7人)

単位:千円

	H30当初予算額	第1回補正後予算額	増減額
給料	27,446	26,271	△ 1,175
職員手当等	19,591	18,315	△ 1,276
共済費	9,140	8,522	△ 618
合計	56,177	53,108	△ 3,069

国民宿舎事業特別会計(2人→2人)

単位:千円

	H30当初予算額	第1回補正後予算額	増減額
給料	6,962	6,962	0
職員手当等	3,934	3,934	0
共済費	2,281	2,281	0
合計	13,177	13,177	0

水道事業会計(18人→18人)

単位:千円

	H30当初予算額	第1回補正後予算額	増減額
給料	73,188	66,413	△ 6,775
職員手当等	51,591	46,449	△ 5,142
共済費	26,731	23,575	△ 3,156
合計	151,510	136,437	△ 15,073

全会計合計(384人→384人)

単位:千円

	H30当初予算額	第1回補正後予算額	増減額
給料	1,491,604	1,485,039	△ 6,565
職員手当等	919,155	930,040	10,885
共済費	513,520	505,177	△ 8,343
合計	2,924,279	2,920,256	△ 4,023

※ 特別職3名分を含む

※ 一部事務組合への派遣職員等(給与不支給者)10名を除く

●事業担当課

総務部 人事課

●下水道事業特別会計 (第1号)	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	対前年度 同期比(%)	※再掲
	1,121,087	△ 3,428	1,117,659	1.6	

補正予算の項目

〈歳入〉

(単位：千円)

No.	款	項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	所管課名	新規	総合 計画	予算書 ページ
1	5 繰入金	公共下水道費繰入金	635,896	△ 3,428	632,468	下水道課			11

〈歳出〉

(単位：千円)

No.	款	項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	所管課名	新規	総合 計画	予算書 ページ
2	1 総務費	下水道職員人件費	61,794	△ 3,428	58,366	下水道課			15

●水道事業会計 (第1号)	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	対前年度 同期比(%)	※再掲
	1,669,104	△ 16,761	1,652,343	△ 5.7	

補正予算の項目

〈支出〉

(単位：千円)

No.	款	項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	所管課名	新規	総合 計画	予算書 ページ
1	1 水道事業費用	総係費	235,666	△ 16,761	218,905	水道課			2

【雲仙市総合計画における基本方針】

- 1 暮らしと安心 2 産業と交流 3 社会基盤と環境 4 人財と郷土 5 協働と戦略